

## 第74～77回国民体育大会各競技の実施区分について

地域連携部スポーツ推進局

### 1. 本大会における実施競技

＜正式競技＞（37競技）	
毎年実施競技 （36競技）	(1)陸上競技 (2)水泳 (3)サッカー (4)テニス (5)ボート (6)ホッケー (7)ボクシング (8)バレーボール (9)体操 (10)バスケットボール (11)レスリング (12)セーリング (13)ウェイトリフティング (14)ハンドボール (15)自転車 (16)ソフトテニス (17)卓球 (18)軟式野球 (19)相撲 (20)馬術 (21)フェンシング (22)柔道 (23)ソフトボール (24)バドミントン (25)弓道 (26)ライフル射撃 (27)剣道 (28)ラグビーフットボール (29)山岳 (30)カヌー (31)アーチェリー (32)空手道 (33)なぎなた (34)ボウリング (35)ゴルフ (36)トライアスロン
隔年実施競技又は開催地選択競技	(1)銃剣道（※クレ射撃） ※クレ射撃については、平成26年3月末まで取り扱いを継続協議とし、状況に応じて「隔年実施競技」又は「公開競技」のいずれかとして取り扱う。隔年開催競技とならなかった場合は、銃剣道が毎年開催となる予定。
＜公開競技＞（5競技）	
選択実施	(1)綱引 (2)パワーリフティング (3)武術太極拳 (4)ゲートボール (5)グランド・ゴルフ ※第70回大会以降に適用される「国民体育大会公開競技実施基準」に基づき、当該中央競技団体が主体となり、開催都道府県の合意を得た上で実施する。公開競技は、当該競技団体の自己負担とする。
＜デモンストレーションスポーツ＞ [県民が対象]	
選択実施	野球、トランポリン、近代五種、バウンドテニス、少林寺拳法、オリエンテーリング、エアロビック、ローラースポーツ、ダンススポーツ、アメリカンフットボール、チアリーディング ※第70回大会以降に適用される「デモンストレーションスポーツ実施基準」に基づき、上記の日本体育協会加盟（準加盟）団体以外の競技を含め、開催都道府県競技団体が開催都道府県と調整の上で実施することができる。
＜特別競技＞（1競技）	
（1競技）	(1)高等学校野球（硬式および軟式）

### 2. 冬季大会における実施競技

＜正式競技＞（3競技）	
毎年実施競技	(1)スキー (2)スケート (3)アイスホッケー

※実施競技については日本体育協会において審議されるため、変更となった場合はすみやかに情報提供することとします。

## 先催県におけるデモンストレーションスポーツの実施状況

### 平成24年：第67回大会 岐阜県

10km・5km マラソン、インディアカ、キンボール、グラウンド・ゴルフ、ゲートボール、武術太極拳、ビリヤード、ビーチバレー、ウォーキング、スポーツチャンバラ、タスポニー、バウンドテニス、少女ソフトボール、3B 体操、パワーリフティング、ミニバレー、カローリング、ケイマンゴルフ、ウォークラリー、マレットゴルフ、ドッジビー、オリエンテーリング、ミニテニス、ファミリー綱引、ターゲット・バードゴルフ、ディスクゴルフ

<http://www.gifukokutai2012.jp/kokutai/kyogi/docs/2009/07/02-218.php>

### 平成25年：第68回大会 東京都

インディアカ、インドアペタンク、ウォーキング、ウォークラリー、ガーデンゴルフ、キンボール、グラウンド・ゴルフ、ゲートボール、サーフィン、3B 体操、視覚障害者クライミング自転車（ヒルクライム）、シニアソフトボール、障害者ゴルフ少年少女スポーツクライミング、少女スポーツサッカー、少年少女スポーツハンドボール、少林寺拳法、スポーツチャンバラ、スポーツ吹矢、ソフトバレーボール、太極柔力球、躰道、ターゲットバードゴルフ、ダーツ、ダブルダッチ、ダンススポーツ、綱引、ティーボール、ドッジボール、ドッジビー、トランポリン、ネオテニス、バウンドテニス、パドルテニス、パワーリフティング、ハング・パラグライディング、ビーチボール、ビリヤード、フィッシング、フォークダンス、武術太極拳、フットサル、ブラインドサッカー、フラダンス、フラッグフットボール、ふれあいビーチバレー、ふれあいフットサル、ボールルームダンス、ミニテニス、ミニバレー、ユニバーサル駅伝、ユニバーサルホッケー、ユニホック、ラジオ体操、レクリエーションダンス、ローラースポーツ

<http://www.sports-sai-tokyo2013.jp/kyogi/kokutai/demosupo.html>

### 平成26年：第69回大会 長崎県

3B 体操、パラグライディング、ペタンク、雲仙アヅマクロス、アクアスロン、マリンスポーツ、ターゲット・バードゴルフ、綱引、グラウンド・ゴルフ、ビリヤード、けん玉、お手玉、パワーリフティング、スポーツチャンバラ、ソフトバレーボール、ゲートボール、歴史探訪ウォーキング、ジュニアソフトテニス、ドッジボール

<http://www.nagasaki-kokutai2014.jp/kokutai/events/demospo>

### 平成27年：第70回大会 和歌山県

合気道、インディアカ、ウォーキング、ウォークラリー、オリエンテーリング、カローリング、近代3種、キンボールスポーツ、ゲートゴルフ、3B 体操、サーフィン、スポーツチャンバラ、スポーツ吹矢、ソフトバレーボール、庭球野球 TE-YA、日本拳法、バウンドテニス、パラグライダー・ハンググライダー、パークゴルフ、ビリヤード、ビーチフットボール、ビーチボールバレー、武術太極拳、ペタンク、リレーション3（3人制ゲートボール）

<http://www.wakayama2015.jp/game/index.html>

みえのスポーツ応援基金事業

「三重県体育スポーツ振興基金」と「みえのスポーツ応援基金(仮称)」及び「三重県国民体育大会運営基金」の区別(案)

地域連携部スポーツ推進局

	三重県体育スポーツ振興基金	みえのスポーツ応援基金(仮称)	三重県国民体育大会運営基金(仮称)
根拠	○地方自治法 第241条(基金) ○三重県体育スポーツ振興基金条例 (昭和60年3月29日制定 昭和60年7月改正、平成11年3月改正、 平成13年3月改正)	○新たに条例を制定(予定) みえのスポーツ応援基金(仮称)条例	○新たに条例を制定(予定) 三重県国民体育大会運営基金条例
財源	○法人県民税の超過課税分(0.8%) (資本金1億円を超える法人または法人税額1千万円を超える法人が対象) 法人税(5%)に0.8%を上乗せし、5.8%を徴収	○県の積み立て ○企業・県民等からの寄付 ・みえのスポーツ応援企業(仮称) ・みえのスポーツサポーター(仮称) ○スポーツ施設の広告掲出料、自販機の活用、スポーツ関連企業との連携 等	○県の積み立て 開催年度の大幅な財政負担の緩和(財政負担の平準化) 開催準備の円滑な推進
使途	○学校スポーツ、地域スポーツ、競技スポーツやスポーツ推進に係る経費の全般に活用する。 ※条例では、「三重県の体育・スポーツの普及振興を図るための事業に活用」を目的としている。  ・「 <b>スポーツ</b> 」自体の推進を目的とする取組  【現在の充当事業】 運動部活動支援・広域スポーツセンター・みえスポーツフェスティバル開催・三重駅伝開催・みえのスポーツ応援・みえのスポーツ地域づくり推進・スポーツ活性化支援・みえのスポーツ強化・国民体育大会派遣・競技スポーツジュニア育成等	○スポーツによって地域の活性化を図る事業に特化して活用  ・「 <b>スポーツ</b> 」を手段とした <b>地域づくり、地域の活性化を目的とする取組(スポーツはツール、スポーツ+α)</b>  (活用例) ・県外からの誘客、県内交流人口の拡大が期待できるスポーツイベントへの助成 ＜事業主体＞市町、競技団体、観光協会、地域のクラブ等 ＜内容＞ スポーツ+地域の観光地→観光振興 スポーツ+地域の特産物→産業振興 スポーツ+地域のイベント→地域づくり 等 ＜助成基準＞参加人数の規模と事業内容により判断 ・スポーツによる地域活性化に繋がる、ボランティア等の人材の育成・活用取組への助成	○平成33年の第76回国民体育大会の運営とその準備主に開催年度とその前年に使用
管理	○他の基金と合わせて、出納が管理運用金融機関への預金その他最も確実かつ有利な方法による。	○他の基金と合わせて、出納が管理運用金融機関への預金その他最も確実かつ有利な方法による。 ○「みえのスポーツ・まちづくり会議」において活用内容を確認	○他の基金と合わせて、出納が管理運用金融機関への預金その他最も確実かつ有利な方法による。
備考		○事例報告会の開催により、事業の検証を行なうとともに、県内各地へ取組を展開する。	○国体終了後には廃止

## 競技力関係予算について

国体準備課

1. みえのスポーツ強化事業、競技スポーツジュニア事業、競技力向上対策特別事業、それぞれの目的および内容について

### (1) みえのスポーツ強化事業（継続事業分）

#### ①目的

当年度の国体順位を上げること  
三重の競技人口の維持と継続的な発展のため各団体の活動を支援

#### ②対象選手

今現在の成年選手（社会人・大学生）、少年選手(高校生)

#### ③取組内容

- ・国体選手強化：対象40団体中23団体（24年度実績）  
（直近2年および今年の戦力分析等を踏まえ、入賞の可能性に応じて強化費の傾斜配分を行う。）
- ・普及・強化：対象40団体  
（各競技団体の規模や特性などに応じて競技人口の維持・拡大に要する費用などを配分する。）

### (2) 競技スポーツジュニア育成事業（選択・集中プログラム）

#### ①目的

将来、国内外の大会で活躍できる選手の育成（国体以上の水準を目指すをはかること、および県民力ビジョン施策目標の達成（27年度国体20位台）

#### ②対象選手

今現在の高校生選手（高校運動部に所属している選手）および小中学生選手（競技団体に所属している選手）

#### ③取組内容

- ・高校運動部強化指定  
（すでに全国入賞レベルにある高校運動部の、一層の競技力向上を図るために強化費用を支援する。）
- ・ジュニアの育成  
（各競技団体が、所属する選手のうち特に将来有望な者を中心に強化練習等の費用を配分する。）

### (3) 競技力向上対策特別事業（新規）

#### ①目的

平成33年国体における天皇杯の獲得

#### ②対象選手

- ・9年後に国体での活躍が期待できる成年選手（現時点での中高生も想定内、未経験者もその潜在的な可能性に着目してリクルート）
- ・9年後に少年選手の主力となる年齢層の選手（競技経験のない子供たちも幅広く対象に取り込むことを想定し、現在の小学2年～4年まで）

#### ③取組内容

【体制】 競技力向上対策本部の設置・運営

【小中学生】・ジュニアの発掘・育成

【発掘】（9年後に成年・少年選手の主力となる年齢層を対象にした、体験会の開催等を行う。）

【育成】 育成については競技スポーツジュニア育成事業（選択・集中プログラム）で実施。

【高校生】・強化指定

競技スポーツジュニア育成事業（選択・集中プログラム）で実施

【成年】・可能性を持った社会人チーム等の強化指定

（将来成果が期待できるチームを指定し、強化費用等を支援する。）

【環境整備】・国体選手の雇用など支援に対する理解促進

（チームみえの広報、選手雇用などに寄与のあった企業の顕彰）

・未普及競技の基盤整備（初度備品整備等の支援）

・医科学エキスパートの派遣

【指導者】・公認指導者の資格取得の支援

## 2. 事業の成果に対する考え方について

これまで県では、みえのスポーツ強化事業を主として、競技力の維持、向上に取り組んできた。過去8年程度の結果は、1億2千万程度の競技力予算により、32位から44位までのレンジで推移している。

県の競技力の維持、向上のためには、各競技団体が、競技人口の維持・拡大のため、練習会や育成研修、強化合宿等の実施をしていく必要があり、現行予算の大半は、各団体が行う、こうした取組費用の一部に充てられており、県の競技力そのものを維持していくために必要なものである。

国体成績そのものについては、年間4千万弱で今年活躍が見込めそうな選手を中心に強化支援している。現状の選手の範囲で成績引き上げに向けた取組としては、30位台前半の結果となっているのが現実だが、挙績種目が個

人か団体かで、大きく点数がわかるため（同じ1位でも個人は8点、団体は最大64点）この範囲での推移で見れば、一定水準の成績を取っていると考えているし、入賞数で見れば、同じ投入予算でも徐々にではあるが、件数も増やしているので、一定の成果を上げていると考えている。